



# 西念寺だより 弥生号

令和5年3月1日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-63-2912 FAX 0774-26-9683



## 間もなく春のお彼岸がやって参ります！

今年の冬は久しぶりに厳しい寒さが続きましたが、檀信徒の皆様にはお変わりなく御元気でお過ごしのことと存じます。今年もあっという間に2ヶ月が過ぎ、もうすぐ冬眠していた虫が這い出してくるといふ啓蟄の時季となります。



3月は旧暦で「弥生」と申します。弥は「いよいよ、ますます」、生は「生い茂る」を意味し、草木が芽吹くことを弥生（いやおい）と言っていたものが転じたそうです。厳しい寒さが終わり、待ちに待った暖かくなっていく気候に芽吹く命の様子を表しています。

さて、トルコ南部で先月6日未明に起きた巨大地震は、トルコと隣国シリアを合わせた死者数が5万人にも及ぶと伝えられています。捜索活動は今も続いており、一命を取り留めた方々も厳しい寒さと治安の悪化に苦労されている様子が連日伝えられています。

2011年に起きた東日本大震災や1995年の阪神・淡路大震災のことを思い出され、お心を痛められている方も多いと思います。またそれほど遠くない未来に発生すると予想されている南海トラフ地震への備えを新たにされた方も多いのではないかと存じます。

このような大災害時に被災者への復興支援が本格的に行われるようになったのは比較的新しいことのように思われるのですが、以前三河の法照寺様で庵主様から颯田本真尼様のお話を聴かせていただき、大変感動したことを今も鮮明に覚えています。

本真尼は颯田清左衛門の長女として生まれ、安政3年に僅か12歳の時に貞照院の高橋天然師のもとで得度され、文久2年に後に徳雲寺となる寺を創建されました。



そして、明治23年に三河地方を襲った津波を機に被災者難民救済に生涯を捧げる決意をし、翌年の美濃地方大震災から大正13年の藤沢町大震災での救済まで、実に34年間に全国23県6万戸以上に及び、被災地救済へのボランティア活動の先駆けとして多くの賛同者やお弟子様と共に布施行に邁進され、昭和3年に徳雲寺にて84歳で入寂されたそうです。

後世に「布施の行者」と呼ばれ、慈善救済事業の骨格が未熟な時代に於いて、戒律堅固で清貧な生活を旨とした浄土宗の一尼僧が始めた被災地への布施行が、念仏結縁を通じて多くの篤信の方々の心を掴み、全国的な広がりを見せたことは、本真尼自らの情熱と、その姿に賛同した人々の協力があつたからに他なりません。

そして何よりも本真尼の布施行は、単に施物を届けることに終わらず、布施行を通じて人々に寄り添い心の安寧に尽くされたことをしっかりと学ばなければと思います。

間もなく春のお彼岸を迎えます。御先祖様の供養やお墓参りを通して、大きな自然災害や未だ収束しないウクライナ地方のような紛争も無く、日々平和に生かされている事に感謝し、充実した毎日をお送りいただければと存じます。

[裏面に続く](#)



## 【春彼岸会の日程】

別紙でもお伝えしておりますが、春彼岸会を次のように予定しております。  
コロナウイルス感染症も5月の連休明けには制限を伴わない5類に移行するようですが、現時点ではまだまだ陽性患者も多く、インフルエンザの流行も収まっていないことから、本堂内の換気をはじめ、体温測定やアルコール消毒等に留意して実施したいと存じますので、皆様お誘い合わせの上、お揃いでお参りいただきますようお願いいたします。

なお、中日法要では法要の後、春彼岸では法話、秋彼岸ではコンサートをはじめ様々なイベントを企画しておりますが、今回は五重相傳で勸誡師をお勤めいただき、大変好評を得ました勝田良樹上人にお越しいただきまして、御法話をいただく予定をです。

・彼岸の入り 18日(土) 午後1時～ お彼岸回向 (施主別回向)

・中日法要 21日(火)

午後1時～ お彼岸法要

午後2時～ 法話 講題「かけがえのない人生の御守」

京都教区布教師会 前会長

三縁寺住職 勝田良樹上人

勝田上人は当山の五重相傳で勸誡師をお勤めいただき、分かりやすいお話しで大変好評でした。

皆様のお越しをお待ち申し上げております。

・結 願 24日(金) 午後1時～ お彼岸回向 (施主別回向)



## 【永代祠堂金御寄進のお知らせ】

北川雄介氏より北川廣子氏の弔周忌に際し、また匿名希望者様より山岡鎮男氏、山岡満氏の七回忌に際して永代祠堂の御寄進をいただきました。

北川廣子氏は忙しい家業の中でも書道の達人として、また山岡鎮男氏は京都市立学校の校長として、山岡満氏は優秀な銀行マンとして活躍され、当山運営にも何かと御協力いただきました。誠に有り難うございました。

・永代祠堂料 金50万円 為 謙徳院学誉廣風賢信大姉菩提(故 北川 廣子 氏)  
施主 北川 雄介 氏

・永代祠堂料 金50万円 為 戒光院速誉証円純鎮居士菩提(故 山岡 鎮男 氏)  
為 浄善院満誉紫雲精光居士菩提(故 山岡 満 氏)  
施主 匿名希望者様

## 【日課称名念仏のお勧め】

前回の五重相傳会以来、日課念仏の実践に励んでいただいている方が多く、大変嬉しく存じます。百遍毎に「〇」を一つ塗りつぶしていただき、三百遍の日課念仏を毎日続けていただくとほぼ十ヶ月で十万遍となり、用紙が塗りつぶした〇で一杯になります。

最初は大変ですが、習慣になると自然にお念仏が口から出てくるようになります。何かとお忙しい中ですが、一日5分で三百遍の日課念仏が実践できます。大きなお声で称えていただくと体調が良くなったとおっしゃっていただく方もおられます。今回日課念仏の記録用紙を同封させていただきますので、是非これを機会に日課念仏を習慣にしてみられてはいかがでしょうか。

用紙の追加はお寺で用意しています。宜しくようお願い申し上げます。

